



シリーズ豊前市 SDGs とは？

“誰一人取り残さない持続可能な社会”を実現する世界共通目標である SDGs。全部で 17 個ある SDGs の目標を、地域の視点を取り入れ、そして一人一人が

できる取組事例を取り入れて、毎月 1 つずつご紹介していく 2022 年 1 月から開始した連載です。

地域の未来のために、私たちと私たちの大切な人が持続可能であるために。豊前で始める最初の第一歩。

毎月 SDGs を一緒に学びながら、**自分にできることを一緒に始めていきましょう。**

**目標1
「貧困をなくそう」**

世界には少ないお金で生活している人がたくさんいます。十分な食事や教育、医療サービスを受けることができる社会づくりが必要です。

世界では 1 日 1.9 ドル(220 円)未満で暮らす人が 10 人に 1 人、約 7 億人超えます。貧困は日本には関係のない問題でしょうか？実は日本では 6 人に 1 人が「相対的貧困*」の状態にあります (*ある地域社会の中で大多数の人の生活レベルよりも経済的に貧しい状態)。このように、貧困問題は私たち一人一人にとって他人事ではなくなっている問題なのです。私たちが目標 1「貧困をなくそう」を達成させるためにできることは、**まず貧困を知ること**です。「どうして貧しい人が世界中にいるの？」

「貧しいとどうなるの？」「貧しさはどんな社会現象を引き起こすの？」

などの疑問を一つひとつ調べていき、貧困に対する知識や理解を深めましょう。そうすることで、貧困を身近に考えられるようになり、自然と「貧困をなくす」行動がとれるようになります。



豊前市の取組 | 豊前コミュニティエールワゴン

豊前市内を巡る
移動スーパー

貧困をなくすための取組として具体的な 7 つのターゲットがあります。このうち、「社会的保護の整備、基礎的サービスへの平等なアクセスの確保」へのアプローチとして、ギヴィングツリーが行う「豊前コミュニティエールワゴン」をご紹介します。

子どもを育てるお母さんたちや医療従事者又は医療従事経験者が中心となり、令和 3 年 3 月末から活動を開始しています。公民館等に出向いて市内のお店の商品を中心に販売し、地産地消を促進するとともに、買い物難民対策として豊前市の課題解決に貢献しています。「豊前コミュニティエールワゴン」は、市役所や社会福祉協議会とも連携することで、地域の皆様のコミュニティを支え大切に守ってくれています。

(お問合せは ギヴィングツリー TEL090-5496-5550 / yellwagon@gmail.com)



SDGs の主人公はわたしたち 身近なところにある SDGs
一人一人ができる取組事例

目標 1「貧困をなくそう」は、世界中から貧困に苦しむ人々をなくそうとする目標です。今回ご紹介する取組以外にも、**個人でできる取組はたくさんあります。まずは新聞や公共施設など周囲に目を向け、身近に自分ができる取組みが紹介されていないか、そしてヒントが隠れていないか探し、できることから始めましょう。**



<わたしたちにもできること>

- ① 寄附をする (国内はもちろん、貧困に苦しむ国など海外などにも支援することができます)
- ② 周囲の子どもの貧困に向き合う (食材を子ども食堂に寄附する、子どもの貧困を助ける場所への支援など)
- ③ ボランティア活動へ参加する (現地活動だけではなく身近なところから始められるボランティア活動への参加など)
- ④ フェアトレード認証の商品を購入する (途上国から仕入れる「モノ」を適正価格で継続的に取引し、生産者である人々に正当な対価を届けることで、生産者の生活を守ることに繋がります)

株式会社ニコン日総プライム 水谷洋司(英国 CMI 認定サステナビリティ(CSR)プラクティショナー)